

エールかみさと 職員による自己評価 集計表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	4		開所当時より広くなり、児童数の増加に対応出来ている。用途によって使い分けも出来ている。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	1		障害が重いお子さんも多いため、指導員のスキルをあげて、対応出来るように努力している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2	2	玄関の上り框には段差があるが、活動スペースには段差がない。児童の活動には支障がない。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	3		月一回のミーティングの他に、日々の支援前後に振り返りを行い、周知するために、日誌や記録に細かく記載するようにしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	1	3	年一回の実施を継続して、確立出来ていない部分は改善していきたい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	2	4	ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	5	現在は行っていないが検討していきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1		様々な種類の研修に参加してもらい、スキルアップを図っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		面談の他に、毎日の送迎時も保護者の方と要望や、児童の様子について詳しくやり取りを行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	1	1	現在は行っていないが検討していきたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	3		チームでは行っているが、指導員全員ではない。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		児童に応じた課題や活動を、変化をつけて提示するように心がけている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			児童の年齢やスキルに合った計画を立てるようにしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			前日の児童の様子を共通理解して支援している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1		特にヒヤリハット等は必ずあげて、日誌に記載している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			チェックシートを活用して、漏れがないようにしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか				必ず行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	2		ガイドラインの周知をすすめたい。

エールかみさと 職員による自己評価 集計表

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2		地域的に相談支援事業所が少なく、児童は市や町の福祉課担当者がセルフプランで行っている。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			学校お迎え時に、担任教諭と情報交換するほか、面談を行って児童の情報を共有している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	3	2	現在は受け入れ態勢になっていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		3		現在は行っていないが、今後はしていきたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	4	1		系列事業所に全員移行したため、情報共有ができた。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1		年数回研修を受けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	4	児童数が多いため、地域の児童館には行くことができていない。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		4		協議会に本庄児玉地域の放デイは参加していないが、今後は独自のネットワークを作っていきたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			毎日の送迎時の他に、年数回は面談の形で共通理解ができるようにしている。 学校への要望アンケートを、事業所に見せていただける方もいて、参考にしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3	3	研修を受講して、指導員間ではトレーニングできているが、保護者様向けにはできていない。
保護者の説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約時に行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			個別に相談がある場合には、適宜行っている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	4	父母の会は立ち上げていないが、保護者のアンケートで、あまり必要性を感じていないことが分かった。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			日々の支援への要望はあるが、大きな苦情はない。要望にはできるだけ対応するように努力している。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			写真入りのお便りを定期的に発行し、様子を知らせるようにしている。HPで活動の様子を公開している。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	6			指導員全員が徹底するようにしている。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	3	地域との交流行事はできていないが、区長には事業所の様子を知らせ、常に見学を受け入れている。

エールかみさと 職員による自己評価 集計表

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	3	1	マニュアルはあるものの、保護者全員に渡すことはできていないので、ホームページ等で周知していきたい。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その必要な訓練を行っているか	6			定期的な避難訓練の他に、消防署にお願いして、水消火器の訓練を含めた総合訓練を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			県の研修を受講した指導員が、他の指導員全員に研修を行い、徹底している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	2		児童自身の危険が伴う行動時のみ、止めることが必要な児童に対しては計画に記載していく方向。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		5		アレルギーのある児童はいない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			ミーティングで文書にまとめた一か月分を共有している 日誌にも毎日記載している。

* 指導員アンケート総数 6 名。

* 無記入箇所があったため、総数が 6 に満たない設問があります。